



台風10号

「孤立集落」伝言板



岩泉町

安家・大平地区 三好 秀美さん(58)

=農業

今までにない被害で、200年に1度と言える大災害だ。道路はなくなり、畑は崩れ、農機具や軽トラック、炭など山間の生活を支えていたいろんなものが川に流された。とにかく狭い砂利道でもいいから、どこかにつながる道路を1本通さないと、何も始まらない。今まで限界集落といわれてきたが、これでは集落が崩壊してしまう。

そいり 鼠入地区 佐々木 紅彩君(岩泉小4年)
孤立している間はお風呂の水が冷たくて、畑で取れたユウガオとかを食べていた。おなかがいっぱいになつても心が変な感じ。お母さんは仕事で会えていないから早く会いたい。友達は1人と電話できただけ、他のみんなはどこに行ったのかな。今朝、岩泉町民会館にヘリコプターで運ばれる時はちょっと怖かった。会館はいろんな人がいるから、寝にくそうだなと思った。

いはばけ 門・石畠集落 前川 保行さん(64)

=建設業

石畠自治会長を務めている。被災した家が複数あり、地域の皆で助け合って作業している。一番の願いは断水の解消。暑い日が続いているので早く風呂に入りたい。

久慈市(山根町)

細野集落 八屋 民泰さん(49)=自営業

2日夕に停電が回復し、真っ暗な夜の生活は解消された。5日ぶりの入浴もできた。いろんな方々の支援や働きに感謝したい。

細野集落 小笠原 満さん(59)

集落には電話が通じた住宅もあるようだが、光回線の電話はまだ通じない。遠方の友人に安否を伝えることができずにもどかしい。

細野集落 小上 好文さん(67)

=農業、細野町内会長

母マス(90)、妻絹子(67)を含め、集落で孤立した12世帯約25人は無事。食料も十分確保できているほか、飲み水に使える「細野川」のおかげで水に困らない。集落には高齢者が多く、通院や薬の確保に困る人がいる。必要な薬の調査・手配をしてほしい。

安家・松ヶ沢地区 漆畠 竹男さん(64)

=消防団分団長

豪雨で安家川沿いの道路が崩壊した。危険だが、土砂の上や岩場を越えて、片道約4キロを歩き、携帯電話で連絡を取りに行ったり、お年寄りの食料を運んだりしている。高齢者が多い集落で自分も60歳を過ぎているが、動ける人間が頑張るしかない。

浅内・大沢集落 畠山 初郎さん(72)

=農業

大沢公民館に7人で避難している。次の台風が心配だが、危なそうだったら中心部に避難したい。電気が駄目で、電話も通じないことが不便だ。早く復旧してほしい。

心和ます湯、被災者に

久慈・山根のべっぴんの湯 9日まで無料提供

台風10号の影響で8月30日午後から休業していた久慈市山根町の新山根温泉べっぴんの湯(村田勉支配人)は3日、営業を再開し、入浴が困難な久慈市と岩泉町の被災者に無料で開放した。9日まで提供する。早速足を運んだ人たちが久しぶりに温泉にかかり、リラックスした時間を過ごした。

台風10号の影響で8月30日午後から休業していた久慈市山根町の新山根温泉べっぴんの湯(村田勉支配人)は3日、営業